

がん治療認定医の育成に携わって感じたこと

副理事長 藤 也寸志



日本がん治療認定医機構は、日本医学会の提言に基づき、日本癌学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会、全国がん（成人病）センター協議会（現・全国がんセンター協議会）の連携により、がんの治療水準の向上を目指して2006年に発足して以後、がん治療に関する教育機会を提供し続け、各診療科共通分野の研修を修了した医師を“がん治療認定医”として認定してきました。これは世界で類を見ない、わが国独自の制度です。本機構のがん治療認定医は、「がん治療の共通基盤となる臨床腫瘍学の知識およびその実践を支える基本的技術に習熟し、医療倫理に基づいたがん治療を実践する優れた医師である。」と定義されています。換言すれば、外科治療、薬物療法、放射線療法など各々の専門領域において必要不可欠な知識や医療経験を有するのみならず、がん治療の全相（初期診断から終末期医療まで）における標準的な医療内容に関して説明責任を果たせることが求められます。

がん治療認定医になるには、がん医療の広範囲にわたる内容を含むテキストを読み、それに基づく教育セミナーの受講を前提として、厳正な試験に合格しなければなりません。2007年の第1回認定から17年が経過し、15年後の2023年には、通算23,200人以上の合格者を出し、22,282人（うち693人は歯科医）が認定されています。5年毎の更新が必要ですが、第1回認定医の85%以上が15年後の2022年にも更新をしていることは、がん治療認定医の意義が十分に感じられているからだと思います。認定されたがん治療認定医が、がん治療の最新知識のブラッシュアップができるように、当機構の前年度の教育セミナーを無料で受講するシステムもスタートしています。

私は、全国がんセンター協議会の代表として、2016年に本機構の理事に就任し、今年で退任します。私自身、2007年の第1回試験を明治大学で受験しましたが、全領域のセミナーを受講し緊張して受験したことを覚えています。本機構では、資格審査や試験の可否判定に携わり、教育セミナーテキストの執筆や講義、試験問題の作成などに

も関わりました。本機構の匆匆たる顔ぶれの理事や委員の方々と活動を共にして、多くのリーダー達のがん治療認定医育成への強い情熱に接することができました。また、事務局の完璧な対応も含めて、試行錯誤を繰り返しながら育成に係る多くのノウハウが培われていると感じました。そして、COVID-19蔓延前には教育セミナー受講者の真剣な眼差しに接し、またCOVID-19蔓延後も変わらない受験者の多さに接して、本機構の活動が日本のがん医療の基礎作りに極めて重要な役割を果たしていることが確信できました。私も微力ながらお手伝いできたことを誇りに思いますし、今後も本機構の活動情報を啓発し、がん治療認定医が活躍できる場の提供のあり方を考え、さらなる研修を通じた指導的な人材育成にも貢献できるように努力したいと思います。

厚生労働省によるがん対策推進基本計画では、先進的医療の推進によるがん生存率の向上・がん死亡率の減少とともに、がんとの共生（がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会の実現）が目標に掲げられています。がん治療認定医は、その目標達成のために大きな力を発揮できる人材です。がん治療認定医制度は、がん患者・家族から求められる貴重な制度であると信じますし、そうあり続ける努力を続けたいといけません。日本専門医機構による専門医制度において、がんに対する幅広い最新の知識を有する医師育成のためのプログラムは明確ではありません。だからこそ、私たちのがん治療認定医機構の使命は一層大きくなります。本機構のさらなる発展を祈念して、巻頭言とさせていただきます。

がん治療認定医総数

18,240名

がん治療認定医(歯科口腔外科)総数

667名

2024年4月1日現在

▼ 目次

がん治療認定医の育成に携わって感じたこと	1
2023年度認定医試験報告	2
2023年度認定医審査結果報告	2
役員一覧	2
重要 2024年度もがん治療認定医試験を CBT (computer based testing)にて開催いたします	3

注目 前年度の教育セミナー (e-learning)が 無料受講できます	3
2024年度 教育セミナー・認定医試験開催概要	4
2024年度 認定研修施設更新手続・在籍報告について	4
編集後記	4

2023 年度認定医試験報告

教育委員会

委員長 滝口 裕一

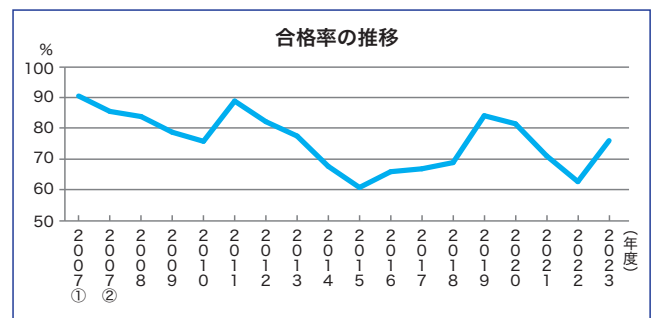


2023 年 11 月 5 日に第 18 回がん治療認定医試験が実施され、1,022 名が受験しました。CBT (Computer Based Testing) による試験もこれで 2 回目になりました。全国から 1,000 名を軽く超える先生方に受験していただくこの試験を 1 箇所で行っていた時には受験なさる先生方にも多大なご不便をお掛けしてました。CBT にすることにより受験者のお近くの会場を選べる利便性を提供できる一方で、運営面での不行き届きも多く、一部の先生には多大なご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び致します。これまでの経験を活かして今後さらに多くの先生に利便性を感じていただけるよう心がけたいと思います。内容的には例年通りテキストの第 I 部 (がん治療に求められる基盤的知識) と第 II 部 (各種悪性疾患の診断と治療の基本原則) から 1:1 の問題数、配点でした。合格者は 779 名 (医師 738 名、歯科医師 41 名)、合格率 76.22% でした (図 1 参照)。合格率は昨年よりもかなり改善致しました。等価評価に基づいた合否判定をしておりますので、問題の難易度の違いによる年度間の不公

平はないと考えますので、先生方の努力の賜であり、先生方の日頃の研鑽に深く敬意を表したいと思えます。

本機構では試験問題の質の向上を図るため専門家も交えて多面的な検証を行い品質管理の向上に努めています。受験者の皆様におかれましては、本認定医試験を今一度ご自身のがん治療に関する基盤的知識の点検の機会ととらえていただき奮ってのご参加を期待いたします。

図 1



2023 年度認定医および認定研修施設審査結果報告

資格審査委員会

委員長 馬場 英司



2023 年度のがん治療認定医認定は 722 名の新規認定と、猶予を含めて 3,137 名の更新認定 (1 回目 750 名、2 回目 907 名、3 回目 1,480 名) を行いました。教育セミナーは e-learning 形式で実施し、認定試験は昨年から引き続き CBT (computer based testing) 形式で実施いたしました。ほぼ例年通りの新規・継続認定者数を確保したことから、本認定医が国内のがん医療において重要な役目を担っているという理解が浸透しているものと考えます。認定医・認定施設審査の運営は順調に行われましたが、資格試験として公正かつ確実に実施できますよう更に努めてまいります。

認定研修施設のうち歯科口腔外科限定の研修施設については、本年度より新たに「認定研修施設 (歯科口腔外科)」という名称が設けられたことに伴い、2024 年 4 月 1 日付

けで新たな認定証が発行されます。認定研修施設の審査では、新規申請 9 施設は全て合格、更新申請 122 施設のうち 120 施設が合格となりました。いずれの認定研修施設でも、認定医の教育に資する高い水準のがん医療を提供できる体制を整えています。がん医療を取り巻く環境が変遷する中、適切な審査項目はなにかについて常に注意を払いつつ、公正な審査を進めて参ります。

2023 年度がん治療認定医審査結果

新規合格者数 **722** 名

更新合格者数 **3,137** 名

役員一覧

- 理事長 大江 裕一郎 (国立がん研究センター中央病院)
- 副理事長 藤 也寸志 (九州がんセンター)、土岐 祐一郎 (大阪大学)
- 理事 井本 滋 (杏林大学)、大津 敦 (国立がん研究センター東病院)、影山 幸雄 (埼玉県立がんセンター)、調 憲 (群馬大学)、滝口 裕一 (翠明会 山王病院)、田村 研治 (島根大学)、土原 一哉 (国立がん研究センター先端医療開発センター)、野々村 祝夫 (大阪大学)、馬場 英司 (九州大学)、馬場 秀夫 (熊本大学)、張替 秀郎 (東北大学)、菱木 知郎 (千葉大学)、藤原 俊義 (岡山大学)、松尾 幸憲 (近畿大学)、三森 功夫 (九州大学病院別府病院)、村上 善則 (東京大学医科学研究所)、山上 亘 (慶應義塾大学)
- 監事 清水 研 (がん研有明病院)、西田 俊朗 (大阪病院)

重要

2024 年度もがん治療認定医試験は CBT(computer based testing) にて開催いたします



2023年度、CBT (computer based testing) による試験を全国各地計95会場にて実施いたしました(会場数は右図参照)。2024年度もCBTにて開催いたします。

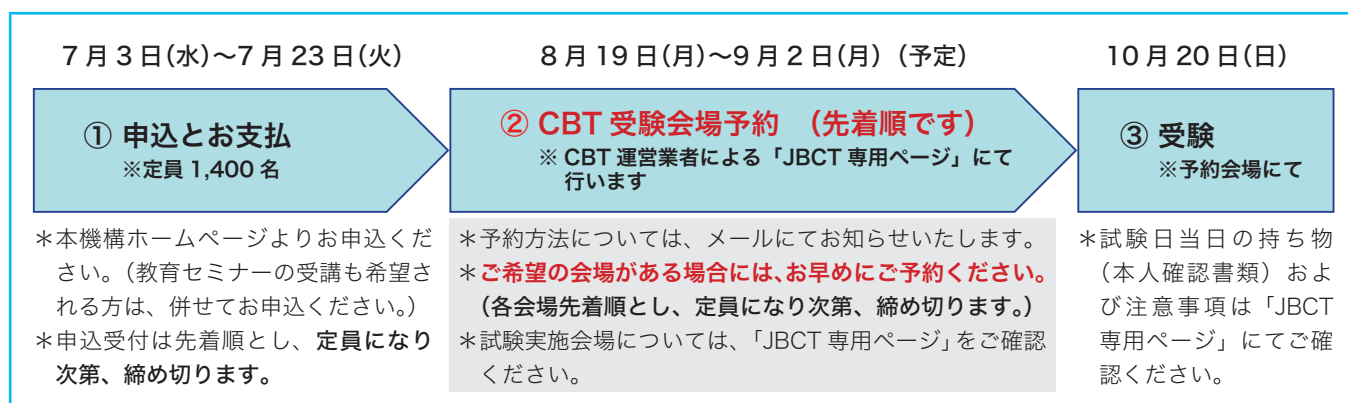
試験会場については、各会場、先着順の予約となりますので、優先受付期間内にお早めにお申し込みください。

※詳細は本機構ホームページをご確認ください。

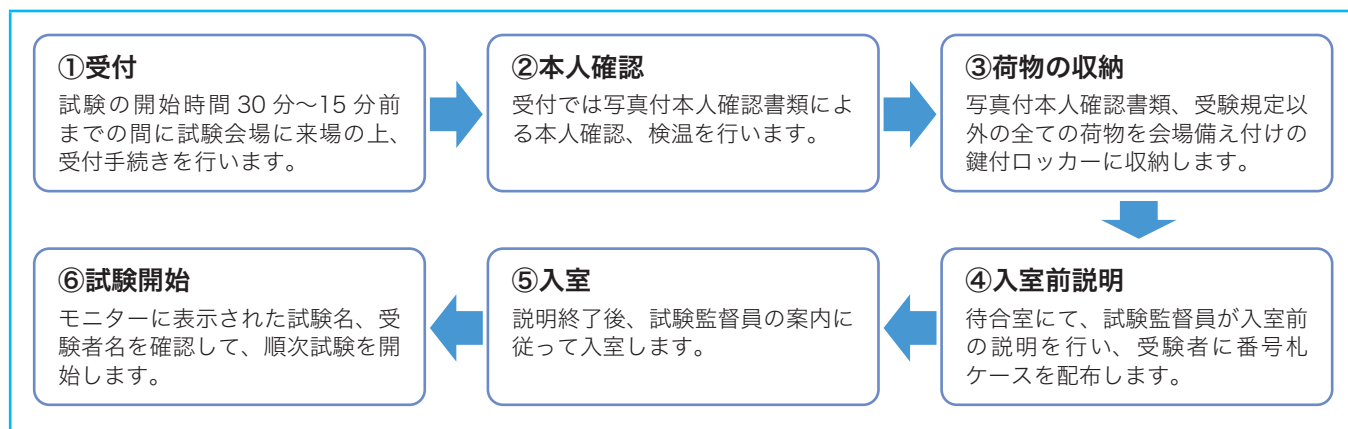
(参考) 2023 年度試験会場数一覧

都道府県名	会場数	都道府県名	会場数	都道府県名	会場数
北海道	3	石川県	1	岡山県	2
青森県	1	福井県	0	広島県	2
岩手県	1	山梨県	1	山口県	0
宮城県	3	長野県	2	徳島県	1
秋田県	1	岐阜県	1	香川県	1
山形県	0	静岡県	3	愛媛県	2
福島県	1	愛知県	7	高知県	1
茨城県	1	三重県	1	福岡県	6
栃木県	1	滋賀県	1	佐賀県	1
群馬県	1	京都府	2	長崎県	1
埼玉県	2	大阪府	7	熊本県	2
千葉県	2	兵庫県	3	大分県	1
東京都	14	奈良県	1	宮崎県	1
神奈川県	6	和歌山県	1	鹿児島県	1
新潟県	1	鳥取県	1	沖縄県	1
富山県	1	島根県	1	計	95

1. お申し込みから受験までのながれ (定員 1,400 名予定)



2. CBT の当日のながれ



〈がん治療認定医、がん治療認定医(歯科口腔外科) 限定〉
前年度の教育セミナー(e-learning)が無料受講できます

がん治療の知識のブラッシュアップを随時行っていただけるよう、がん治療認定医/がん治療認定医(歯科口腔外科)の方へ、当機構の教育セミナーを配信します。

- ◆受講期間：2024年11月~2025年2月(予定)
- ◆費用：無料
- ◆内容：2023年度教育セミナーおよびテキスト第17版(PDF) ※テストはありません。(今後毎年、前年度のセミナーを配信していきます。)
- ◆受講方法：ご自身のMyPageよりアクセスしてください。
- ◆注意事項：
 - ・更新猶予期間中は、受講はできません。
 - ・修了証は発行されません。
 - ・がん治療認定医の更新の申請資格としては使用できません。

※詳細は、2024年10月頃、ご登録のメールアドレス宛にお送りしますのでご確認ください。

2024年度 教育セミナー開催概要

開催に関する詳細につきましては、HPをご確認ください。

開催日程 2024年10月4日(金)13時
～10月19日(土)24時

開催方法 Webによる開催

申込期間 7月3日(水)～7月23日(火)
本機構HPよりお申込みのうえ、所定の金額をご入金ください。

定員 1,400名

費用 教育セミナーのみ 14,410円
認定医試験のみ 14,410円
セミナー・試験両方 25,410円
※いずれもテキスト代・事務手数料・消費税込

! テキストは、8月末に送付いたします。
必ず事前に予習をしたうえで、受講・受験に臨んでください。

●教育セミナー 講義内容一覧

I：がん治療に求められる基盤的知識

1. がんの生物学・分子生物学 (川上 尚人・近畿大学)
2. 遺伝性腫瘍 (平沢 晃・岡山大学学術研究院医歯薬学域)
3. 腫瘍免疫学 (富樫 庸介・岡山大学学術研究院医歯薬学域)
4. がんの疫学・がん検診 (井上 真奈美・国立がん研究センター)
5. 臨床研究と統計学 (口羽 文・帝京大学)
6. 病理学 (分子病理学を含む)
(谷田部 恭・国立がん研究センター中央病院)
7. 画像診断学 (遠藤 正浩・静岡県立静岡がんセンター)
8. 外科治療学概論 (調 憲・群馬大学医学部附属病院)
9. 化学療法概論 (小野 麻紀子・がん研究会有明病院化学療法部)
10. 分子標的薬概論 (内藤 陽一・国立がん研究センター東病院)
11. 免疫療法概論 (市原 英基・岡山大学病院)
12. 放射線療法概論 (伊藤 芳紀・昭和大学医学部)
13. 緩和医療特論 (井上 彰・東北大学大学院)
14. 精神腫瘍学(サイコオンコロジー) (稲垣 正俊・島根大学医学部)
15. がん救急 (岡本 渉・広島大学病院)
16. がんの診療と倫理 (佐藤 潤・国立がん研究センター中央病院)

II：各種悪性疾患の診断と治療の基本原則

1. 脳腫瘍 (杉山 一彦・陽光会 光中央病院)
2. 頭頸部がん (田原 信・国立がん研究センター東病院)
3. 食道がん (森田 勝・九州がんセンター)
4. 胃がん (佐藤 太郎・大阪大学医学部附属病院)
5. 大腸がん (高島 淳生・国立がん研究センター中央病院)
6. 肝がん (森口 理久・京都府立医科大学)
7. 胆道がん・膵がん (上野 誠・神奈川県立がんセンター)
8. 肺がん (津端 由佳里・島根大学)
9. 乳がん (高野 利実・がん研究会有明病院)
10. 婦人科がん (川名 敬・日本大学医学部)
11. 骨・軟部腫瘍 (米本 司・千葉県がんセンター)
12. 泌尿器科腫瘍 (北村 寛・富山大学医学部医学科 副医学科長)
13. 皮膚がん (西澤 綾・都立駒込病院)
14. 白血病 (塚田 恵美子・千葉大学医学部附属病院)
15. 悪性リンパ腫・多発性骨髄腫
(棟方 理・国立がん研究センター中央病院)
16. 小児がん (竹谷 健・島根大学医学部医学科)

2024年度 認定医試験開催概要

開催に関する詳細につきましては、HPをご確認ください。

開催日程 2024年10月20日(日)
受付時間 12時30分～12時45分
試験時間 13時00分～14時25分(85分)

開催方法 CBT(computer based testing)

開催会場 各CBT会場(全国47都道府県)
※開催しない県・会場が発生する場合があります。

申込期間 7月3日(水)～7月23日(火)

**受験会場
予約期間** 8月19日(月)～9月2日(月)
本機構HPよりお申込みのうえ、左記教育セミナー開催概要に記載の所定の金額をご入金ください。その後、受験会場予約期間に会場予約を行ってください。

定員 1,400名 (※ただし会場毎に定員あり)

認定研修施設

2024年度 更新手続・在籍報告について

更新手続

対象施設 2020年4月1日付で認定または更新認定された施設で、更新を希望される施設

更新手続 対象施設には施設長あてに個別に郵送にて「認定研修施設更新通知書」をお送りいたします。(詳細は、HP「認定研修施設更新申請」をご確認ください。)

在籍報告

対象施設 更新手続対象(上記)以外の施設

提出方法 対象施設には施設長あてに個別に郵送にて「認定研修施設在籍報告のお願い」をお送りいたします。(詳細は、HP「認定研修施設在籍報告」をご確認ください。)

! 認定研修施設の審査基準をご確認のうえ、更新手続または在籍報告を行ってください。
<https://www.jbct.jp/facilities/outline.html>



編集後記

このたびJBCTニュース第11号を発刊いたしました。今回も認定試験情報や試験実施報告などを中心としたラインナップとしておりますので、ご参考にしていただければと思います。昨年5月にコロナ感染症が5類に移行しましたが、この感染症によって社会のシステムがウェブ化へと大きく変貌しました。本機構の認定試験もコロナ感染症を契機にCBT化いたしました。また、大きな混乱もなく今年度も受験者が1000名を超えました。また、2023年度から、がん治療認定医の先生方が当機構の教育セミナーを無料で受講できるe-learningシステムを開始しました。是非、がん知識のアップデートのためにご利用いただければと思います。時代の潮流に適応しながら、引き続きがん診療の均てん化を目指してまいりますので、今後ともご支援のほど、お願い申し上げます。

(広報・渉外委員会委員長 張替秀郎)